



青少年赤十字トレセンを開催 「気づき、考え、実行する」をはぐくむ。

今年も「赤十字の精神」の理解，青少年赤十字が掲げる態度目標「気づき、考え、実行する」力の育成、リーダーの養成等を目的に、小学生、中学生、高校生を対象にした青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センター（トレセン）や、指導者等を対象にした講習会・研修会が実施されました。いずれも日赤鹿児島支部・県青少年赤十字指導者協議会主催、県教育委員会後援で、次のとおり行われました。

〔参加人数〕

小学校(25名) ……8月4日(土)～6日(月)
中学校(36名)・高等学校(19名) ……8月6日(月)～8日(水)
指導者(担当者)講習会(14名) ……8月4日(土)～5日(日)
(会場：県立霧島自然ふれあいセンター)
校長・教頭・指導主事等対象研修会(14名) ……8月10日(金)
(会場：県赤十字会館)

参加した児童・生徒は、盛りだくさんの内容に初めて会う仲間たちと力を合わせて取り組み、2泊3日間の活動を通して多くのことを学び、少し成長した自分を自覚することができたようでした。また、先生方も、青少年赤十字の指導者として、あるいは一人の教師としてのあるべき姿について振り返るとともに、新たな実践意欲を燃やすよい機会となったと喜んでおられました。

〔女子中学生：「72時間後のわたくし」から〕

3日前の私は、不安でいっぱいでした。1人も知らない人に囲まれて、話し合いで意見を言えなくて、“早く終わればいいのに。”そんなことしか考えていませんでした。「気づき、考え、実行する」このことをする余裕もなく、自分のことだけで精一杯でした。

でも、今の私は3日前の私より少し変わった気がします。自分の意見を言うことに抵抗が無くなり、話せる人が増えて、「気づき、考え、実行する」を胸にVS※にも参加できるようになりました。また、2泊3日家族・友だちと離れたこともあり、感謝の心を持つこともできました。

この3日間で学んだ「リーダーとしての在り方」・「協力者としての在り方」を心に留め、学校生活・家庭生活で活かしていきたいと思えます。

最後にトレセンの充実の為に支えて下さった全ての人に感謝しています。“ありがとうございます。”

※ VS (ボランティア・サービス) 問題を解決したり、よりよい生活を送るために、自主的にする行動のこと



トレセン講習風景



鹿児島県支部からも救援物資の搬送や
義援金の募集が行われました

九州北部豪雨災害

7月上旬から中旬にかけて九州北部を襲った記録的な豪雨により、人的被害や家屋の倒壊など甚大な被害が発生しました。

福岡、大分、熊本の各県支部は、被災された方々に対し、救援物資として敷マット・枕などが入った「安眠セット」や、ラジオ・懐中電灯などが入った「緊急セット」のほか、毛布などを配付し、また、避難所に救護班を派遣しました。

鹿児島県支部も、熊本県支部からの要請を受け、毛布500枚(50箱)を搬送しました。

また、義援金の募集も行われ、鹿児島県支部に寄せられた義援金はそれぞれ以下のようにになりました。県内の多くの皆さまからの心温まるお気持ちをお寄せいただき、まことにありがとうございます。鹿児島県支部に寄せられた義援金は、被災した各県支部に全額送金し、各県に設置される災害義援金配分委員会を通じて被災者へ配分されます。



鹿児島県支部の
救護倉庫には毛布や
緊急セットなどの
救援物資が備蓄されている



救援物資を積み込む鹿児島県支部職員

義援金名称	受付終了日	受付件数	受付金額
平成24年7月 大分県大雨災害義援金	平成24年8月31日	55	590,631
平成24年7月 福岡県豪雨災害義援金	平成24年8月31日	52	678,950
平成24年7月12日 熊本広域水害義援金	平成24年9月30日	47	586,306 (9月7日現在)



東日本大震災義援金受付延長のお知らせと 受付状況

日本赤十字社では、東日本大震災義援金の受付期間を平成25年3月31日(日)まで延長することを決定いたしました。

また、これまで、鹿児島県内の皆さまからお寄せいただいた義援金の受付状況は下記のとおりです。

8972件
13億3751万6694円
(9月12日現在)

皆さまからの温かいご支援に
深く感謝します。
今後とも引き続き、ご協力を
お願いします。





献血だけじゃない!血液センターで、心もからだも健康に ホリスティックヘルスプラザかごしま 新規受講生募集

鹿児島県赤十字血液センターでは、平成22年に『ホリスティックヘルスプラザかごしま』を開設し、平成24年7月現在、約14,100人の方にご利用いただいております。

プラザでは、「心と身体と生命の再生の森」をテーマに、全人的な健康づくりと利他の地域づくりを目的として、各種講座やセミナーなどを開催しております。

今回、平成25年1月開始分の募集を12月から開始します。別表の各種講座について受講生を募集いたしますので興味のある方は下記までお問い合わせください。



リフレクソロジー講座風景

講座名	コース	開講日時	定員	講師
リフレクソロジー講座	3カ月	毎週月曜日 / 13時30分～15時00分	20名	川原 知洋
体幹トレーニング	3カ月	毎週火曜日 / 13時30分～14時30分	30名	柳田 豊
茶 道	3カ月	毎週火曜日 / 14時00分～16時00分	10名	木之下宗恵
華 道	6カ月	隔週水曜日 / 18時30分～20時00分	10名	山県 葉歌
アロマ講座	3カ月	隔週金曜日 / 13時30分～15時00分	30名	黒木 靖子

【お問い合わせ先】鹿児島県赤十字血液センター 医務課 TEL: 099-296-7175



日本赤十字社鹿児島県支部創設120周年記念

赤十字「絵画・100文字作文」展

日本赤十字社鹿児島県支部創設120周年記念事業として、「人道・博愛」の精神の普及を目的とした「赤十字絵画・100文字作文」コンクールの入選作品を右記の日程で展示します。

県内の保育園・幼稚園・小・中・高等学校・特別支援学校を対象に、赤十字に関するテーマで作品を募集し、114校 3214点のご応募をいただきました。

子どもたちが、日常生活で感じた「人道・博愛」の精神を、工夫を凝らして表現した作品ばかりです。ぜひ会場でご覧ください。

赤十字「絵画・100文字作文」展

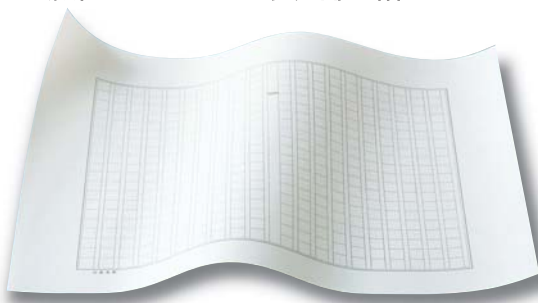
日時：平成24年10月中旬～11月上旬(予定)

場所：イオンモール鹿児島 3階

赤十字「絵画・100文字作文」展 表彰式

日時：平成24年10月27日(土)

場所：イオンモール鹿児島 3階 イオンホール





献血のしくみや重要性を、模擬体験などで楽しく学ぶ!

「楽しく学ぼう キッズ献血」を開催!!

鹿児島県赤十字血液センターでは、毎年、夏休み期間中に小学生高学年（4～6年生）及びその保護者を対象に「楽しく学ぼうキッズ献血」を開催し、献血模擬体験や命の授業等を通じて、献血のしくみ、血液のはたらき、命の大切さ、献血の重要性・必要性などについて学びご理解を深めていただくとともに、夏休みの自由研究の支援を行っています。

本年度は、8月2日（木）、3日（金）、4日（土）の3日間、鹿児島県赤十字血液センターにおいて「楽しく学ぼうキッズ献血」を開催しました。さらに、8月21日（火）には、離島では初めて種子島でも開催いたしました。

その結果、両会場4日間で、総勢420名の親子が参加し、『献血のしくみ』や『アンパンマンのエクス』などのDVDを鑑賞したり、参加児童が医師や看護師、血液センター職員や献血者に扮装して献血の流れを楽しく模擬体験しました。

また、血液センター吉田所長による『いのちの授業』では、聴診器を用いて自分の心臓の音を聞くなど、「生きていること、命とは何か」などについて一緒に考え、保護者とともに改めて命の大切さや人を愛すること、献血が重要であることを学びました。

子どもたちへのアンケートでは、「私も献血をして、血が必要な人たちのために少しでも役に立ちたいです。」「命の大切さを知ることができ、命を救うためにどうすれば良いかを考えることができた。」などの感想をいただきました。

この「楽しく学ぼうキッズ献血」は、次代を担う子どもたちに献血に関する知識と関心を持ってもらうために今後も継続して開催する予定ですので、皆様方のご参加をお待ちしております。



献血模擬体験を楽しむ子どもたち

【お問い合わせ先】

鹿児島県赤十字血液センター 推進課
TEL：099-257-3141



楽しい夏の思い出

錦江園ふれあい夏祭り

8月11日（土）、錦江園夏祭りが園舎玄関前広場で行われました。当日は、天候が心配されましたが、利用者の皆さんの思いが空に届いたのか、無事に外で行うことができました。屋台では焼きそばやしんこだんご、フランクフルトなどが売られ、人気の商品はあっという間に売り切れるほどの盛況でした。舞台では、「Ka Hula O Ululani」の皆さまによるフラダンスが今年も盛り上げてくださり、利用者の皆さんも舞台の踊りに合わせて見よう見まねでフラダンスを踊る姿が見られ、錦江園にハワイの風が吹いたようでした。一喜一憂の抽選会の後は、去年は残念ながら雨のため行えなかった花火大会を行いました。夜空にあがる二年ぶりの大輪の花に皆さんの顔は童心に返ったようでした。楽しい時間はあっという間に過ぎ、今年も楽しい夏の思い出となった一日でした。



効
聞
い
て
て

KIITE KIITE
VOL.56

「医療ソーシャルワーカー」をご存知ですか？

鹿児島赤十字病院 医療社会事業係長 ^{すえよし} 末吉 ^{りえこ} 里枝子 (MSW)

医療ソーシャルワーカー (Medical Social Worker, MSW) は、病気やケガをもとに抱えている不安や問題について相談に応じ、社会資源といわれる国や市町村が実施している制度などの利用の仕方を紹介したり、医療・福祉に関する不安や質問に対して、患者様やご家族と一緒に取組み、問題解決の糸口を一緒に探したしもっとも良い解決方法が見つかるように支援していく専門家です。

患者様の悩みの相談には乗りますが、MSW がすべてを解決するわけではありません。入院費のご不安があれば自治体の医療費助成について伝える。在宅介護生活にご不安があるなら、介護保険制度の案内をしたりケアマネジャーを呼んで一緒に検討する。転院が必要なら、候補となる病院を探して相談にのる、と言うように必要な情報を提供し、関係機関を紹介するといった「援助」によって、患者の悩みに解決の道筋をつけるのが仕事です。

現在は多くの医療機関に医療ソーシャルワーカーが配置され、認知されてきました。医療や介護、福祉などのことで、「どうしようかな?」と思ったら、医療ソーシャルワーカーに尋ねてみてください。きっと一緒に解決の糸口を探しだしてくれると思います。

医療費・生活などの
経済的なことが心配

医師から説明された
内容がよくわからない

退院後の
生活が心配

家族や仕事の
ことで困って
いる

施設や医療機関、
色々な制度を教
えて欲しい



主な援助内容

- 公費負担や高齢者医療などの紹介や制度説明について
- 身体障害者手帳などの障害者福祉の申請方法や制度説明
- 生活保護、各種年金の受給相談・援助
- 介護保険など高齢者福祉の制度説明・申請手続き案内
- 入院患者様の在宅療養、転院などの在宅支援 など



体験を通して「看護の心」に触れる ふれあい看護体験

鹿児島赤十字病院では看護への理解と関心を深めていただき、「看護の心」に触れ、進路選択の参考となるよう、毎年夏に、高校生や一般の方々を対象に看護体験学習を行っています。

今年も8名の高校生が当院のふれあい看護体験に参加しました。実際に現場で働く看護師と一緒に足浴や手浴をおこなってみたり、患者様とお話ししてみたりしたほか、移乗介助や食事介助の様子を見学したりしました。少し緊張しながらも、参加者同士で血圧を計ったりもしました。東日本大震災で被災した看護学生の体験が語られたDVDを視聴して、災害看護についても知っていただくなど、盛りだくさんの内容でした。

参加した高校生から「看護師になりたい」「夢をかなえるために頑張りたい」「食事介助時に笑顔で接する看護師はかっこいいと思いました」などたくさんの感想がよせられました。鹿児島赤十字病院では、今後もこのような体験を通して「看護の心」に触れていただく機会を設け、地域に貢献していきたいと考えています。



ふれあい看護体験風景

♥「赤十字活動支援自動販売機」県内第1号機 天文館ベルク広場に設置!!

8月24日(金)、天文館ベルク広場に県内で初めてとなる、「日本赤十字社鹿児島県支部」支援自動販売機が設置されました。

赤十字活動を広く地域の方々に知ってもらい、自動販売機を「募金箱」と位置づけることで気軽な支援活動ができるよう、企業社会貢献活動の取り組みの一環として、株式会社山形屋様と南九州コカ・コーラボトリング株式会社様のご協力により設置されました。

この自動販売機は、赤十字をイメージした赤と白で彩られたデザインとなっており、ジュースを1本購入するごとに、売上金の一部が当県支部へ寄付され、災害救護、救急法などの各種講習、青少年赤十字活動などの「赤十字事業」に役立てられます。



日赤県支部事務局長挨拶



同日行われた除幕式



第1購買者は(株)山形屋 岩元代表取締役社長

♥社会貢献活動をお考えの企業さまへのご案内

日本赤十字社の活動は、赤十字の趣旨にご賛同いただいた皆さまから寄せいただいた浄財で支えられています。人間のいのちと健康、尊厳を守る赤十字の活動に、ご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。



企業さまによるご協力例

- 創立記念事業としての寄付
- チャリティイベントの収益金を寄付
- 売上金等の一部を寄付
- 従業員の皆さまや店舗利用者さまによる募金

※ご希望の場合は、募金箱を貸出いたします。

- 寄付金付き自動販売機の設置
- コーヒー、ジュースなどお買上げのたびに、一定の額が赤十字の寄付金となります。事業所等での設置についてぜひご検討ください。

- 売上金の一部が赤十字への寄付金となります。
- 設置者の社会貢献活動としてアピールできます。
- 設置者様のご負担はございません。

詳しくは下記までお問い合わせ願います。



【法人社員証】

(アクリル製 ディスプレイパネル)

日本赤十字社鹿児島県支部に事業資金のご協力があった法人・団体様に、社会貢献PR等にご活用いただくため、左掲のご協力を証する「社員証(会員証)」をご要望により贈呈させていただきます。

(A6サイズ 105mm×148mm)

ご自身や故人の思いを赤十字へ… 各種寄付金を申し受けます。

ご自分や故人の財産の一部、或いは「香典返し」に代えてご香典の一部を広く社会に役立てたいとお考えの方へ、当県支部では、遺産・相続財産の寄付や香典返しによる寄付を申し受けます。また、これらの寄付金には非課税となる税制上の優遇措置があります。詳しくは日本赤十字社鹿児島県支部組織振興課までお問い合わせください。

+ 日本赤十字社 鹿児島県支部
Japanese Red Cross Society

☎ 099 (252) 0600

URL://www.minc.ne.jp/nisseki/ E-mail:shibu-rc@po.minc.ne.jp

日赤鹿児島県支部

検索